

平和行進活動交流ニュース

発行：原水爆禁止国民平和行進中央実行委員会事務局団体・日本原水協
電話：03-5842-6035 FAX：03-5842-6033 Eメール：antiatom55@hotmail.com

2019年
6月4日
発行

核兵器全面禁止・廃絶の声を広島・長崎・世界へ届けよう

北海道→東京コース通し行進者の丸宗市さん（太平洋）の日記を紹介します。

5月27日（月）《22日目》

今日も感動的な一日でした。帯広では、市長が「ヒバクシャ国際署名」に初めて署名。その後回った議会事務局長が「エー！市長が署名を！？」とびっくりされていました。地元の粘り強い働きかけの大きな成果です。

少し時間があり、強制連行された中国殉難者の碑を見学しました。戦争が作り出した犠牲に改めて平和な世界を願わずにはられませんでした。

伊達市での行進。出発式に原水爆禁止2019年世界大会参加の市川千紗都、久末京佳さんを含む伊達高校の女子3人が参加し、代表が挨拶しました。みんなから大きな拍手が送られ、参加者も励まされました。



5月28日（火）《23日目》



伊達市を訪問。市長、副市長、議長（議会事務局対応）、教育長と合同で懇談。同市では昨年12月に日米地位協定の見直しを求める意見書採択。核兵器禁止条約への調印（署名）・批准・参加を日本政府に求める意見書採択にも前向きな対応。消費税増税にも怒りをぶつけていました。

その後の行進では昨日と打って変わって雨模様。大阪から移住して7年目の元大学教授が行進に初参加して参加者から大きな拍手。出発式では

お弁当の贈呈式もあり、ただ感謝。雨で中断はあったものの洞爺湖町まで元気に行進。

歓迎集会では、東京で組合活動を一緒にやっていた三島さんが駆けつけて汗ふきタオルをいただき激励していただいたのには、大感激。「頑張って行進しました」と誇らしく語る人、毎年会えるのを楽しみにして来た人、「健康のため来年も頑張ります」と語る人、平和行進の意義を改めて感じました。

洞爺湖町では副町長、議長、教育長がそろって今の安倍政権の姿勢を厳しく批判と、それぞれから「ヒバクシャ国際署名」への賛同とメッセージをいただきました。

同町では非核宣言の町づくり実行委員会を作り、平和展や記念誌の発行に取り組んでいることも報告されました。子どもの広島、長崎への派遣も前向きに検討するとの発言が副町長からありました。